

# YMCA News

# 5

## スズカト(三重県立鈴鹿青少年センター)

スズカトプログラムディレクター **三枝 隆**

桜の訪れが間近に迫る2024年4月1日(月)に、「スズカト(三重県立鈴鹿青少年センター)」「ダイセーフォレストパーク(鈴鹿青少年の森)」がリニューアルオープンいたしました。この事業は2021年8月にPFI事業として民間の資金とノウハウを活用すべく公募され、「三重県が実施する鈴鹿青少年センターと鈴鹿青少年の森の整備運営事業の為に設立された特別目的会社(SPC)」と「鈴鹿フォレストパートナーズ株式会社(7社)」で構成されたグループが選定されました。名古屋YMCAもその一員として開設準備を行い、私と福田樹さんがその役割を担い派遣されています。

このセンターは、皆様もご存じの世界的モータースポーツの聖地とも言うべき「鈴鹿サーキット」に隣接しており、その車やバイクの轟音が時折聞こえてきます。公園の敷地面積は約513,000㎡、センター敷地面積は、約20,070㎡と広大であり、自然豊かな公園の中に宿泊と研修機能を備えています。春はハクモクレン、八重桜が咲き誇り、ウグイスやエナガ、マガモなど多くの野鳥たちが訪れる「野鳥たちの楽園」であり、早朝から近隣や遠方からその自然の美しさに導かれ、ご家族・グループなど多くの方々が利用されています。

スズカトのリニューアルの特徴は、「個人やグループが利用しやすい宿泊室の改修」、「食堂の拡張と雨天



おんせんリーダー

バケツリーダー

でも利用できるバーベキュー場の設置」、「会議室の他に音楽やダンスも利用可能な研修室改修」、「大浴場改修」、「安全安心、美味しいアレルギーフリーのメニュー提供」、「ランニングステーション設置」などです。中でもYMCAの役割としては、学校団体や青少年教育団体に対する「プログラム企画(体験)・運営・指導者養成」が期待されています。

また、ご利用いただくすべての方々へ向け、「SDGs」、「森林教育」、「3R運動推進(リデュース・リユース・リサイクル)」という3つのテーマをプログラムに反映させ、その推進に寄与できるよう様々な教育的アプローチをすると共に、YMCAの使命でもある「青少年健全育成: ボランティアリーダー養成」に着手いたします。また公園内では、県内では数少ないカヤック体験(道伯池)などが可能であるため、YMCAの野外活動やアクアテックプログラムのノウハウを十二分に生かすことができると考えています。地域住民の方のみならず、県内外の多くの方からも注目いただいておりますので、皆様ぜひこの自然ゆたかな「スズカト・ダイセーフォレストパーク」へお立ち寄りください。



URLは  
こちら



スズカト



ダイセー  
フォレスト  
パーク

## 新採用職員紹介



### はじめまして

本館・ウエルネス 瀬川 景子

私の人生の節目にはYMCAがありました。初めて参加したキャンプ、予備校、リーダー活動、中でもシンガポールYMCAで勤務したことは、大きな節目となりました。一時は離れましたが、こうしてまたYMCAで働く機会をいただき感謝します。地域の皆様に喜ばれるプログラムを進めていけるよう頑張ります。



### はじめまして

南山幼稚園 草間 舞香

新しい環境に慣れず不安もありますが、子どもたちと笑顔がいっぱい溢れる1年間を過ごしたいと思っています。私は旅行やドライブをすることが好きで、北海道と沖縄に行きたいです。また趣味は、韓国語を勉強することなので韓国にも行きたいです！



### よろしくお祈いします

南山幼稚園 足立 智美

保育士として初めて働き始めたのが今から約20数年前。途中子育てを挟んだ時期もありましたが、この仕事を続けることができました。南山幼稚園に勤務できることに心から喜びを感じております。キリスト教を基盤とした、一人ひとりを大切に、丁寧に関わる保育に共感し、少しでも近づくことができるよう、日々心に留めて保育にあたっています。そして今ここに関わる全ての皆様に生かされているのだと感じています。



### ともに

日本語学院 小澤 真生子

皆さん、はじめまして。この度、日本語学院で常勤講師として勤務することになりました。学生のことを第一に考え、また講師の皆さんが働きやすいよう、まずは自分ができることから実践し、様々なことに挑戦していきたいと思っています。学生と共に学び、自分自身も成長できるよう、日々努めてまいります。



### ご挨拶

日本語学院 竹内 奈津実

4月から日本語学院で日本語教師としてお世話になります。このようにご挨拶ができることを心より嬉しく思っております。日本語教師という仕事は本当にやりがいのある仕事だと日々感じています。学生の皆さんが卒業する時に「YMCAに来てよかった」と思ってもらえるような教師、学校でありたいと考えております。



### 子どもたちの一番の理解者である保育士に

かりやYMCA保育園 高橋 咲季

私は幼少期の担任の先生に憧れ、将来の夢はずっと保育士でした。そして現在、大好きだった先生のように、子ども達に寄り添い一番の理解者となれる保育士でありたい、という想いがあります。子どもたちと全力で遊び、一人ひとりの子どもたちと向き合い、楽しい！できた！やってみよう！悔しい…たくさん感情と共に出会い、成長をサポートしていきたいです。



### 仕事と子育て

かりやYMCA保育園 酒井 沙織

私は2児の母でもあり、まだ子どもも小さく子育てに奮闘中です。今年から仕事復帰をしましたが、子育てと仕事の両立にとっても大変さを感じています。そんな自分の強みは、これまでの保育士目線だけの保育ではなく、母親目線でも保育を考えられることだと思います。子ども達の成長を、保護者に寄り添いながら見守っていきたくです。また、趣味である登山やキャンプなども楽しみ、メリハリのある生活をしていきたいです。



### 抱負

かりやYMCA保育園 深谷 萌菜

私は保育士になることが幼い頃からの夢でした。年下の子と遊ぶ機会が多く、その子のために何かしてあげたいという気持ちから、お世話をすることの楽しさを知りました。好きな事や自分に合った仕事がしたいという想いから目指した保育士ですが、実際に働いてみると、子どもへの声掛けの仕方や安全に保育をすることの難しさを感じています。少しずつ子どもとの信頼関係を築き始めた4月…先輩や子どもたちからたくさん学ぶ、自分の強みを見つけていきたいです。



### 素敵な給食づくり

かみさわ保育園 栄養士 比嘉 みつき

栄養バランスはもちろん、見た目やイベントなども大切に給食づくりをしたいと思っています。子ども達の「おいしい！」の声や、名前でも呼んでもらえることがすごく嬉しく、毎日の活力になっています。また私は沖縄県出身なので、愛知県特有の文化や郷土料理に触れることも楽しみです。一人ひとりに寄り添った、安全で安心なおいしい給食づくりができるよう日々努力し、成長していきたいです。



### 再会

本館 高 智子

4月から本館で受付パートとして勤務することになりました。以前京都YMCAで会計業務や文化教室の運営に携わっていましたが、この度思いがけず、再びYMCAで働く機会に恵まれ、大変感謝しています。長いブランクもあってまだ慣れませんが、来館される方やお問い合わせ等にしっかり対応できるよう努めて参ります。

## 連載② 名古屋YMCA体操教室の特徴

体操の練習で技ができたとき、課題をクリアしたときに見せる子どもの笑顔は実に美しいものです。「やったー」という喜びは体操指導者の楽しみでもあり、子どもたちに多くの技をできるようにさせたいという思いはどこの体操クラブでも共通でしょう。短い期間で多くの技ができることを会員募集のキャッチフレーズにしているクラブも少なくありません。けれども技ができることだけを優先させると、練習の無理強いや偏った精神面の強化に陥りやすく、子どもたちは体操の面白さを十分に味わうことなく、練習に義務意識を持ってしまいます。一方的な指示や必要以上の補助によって技ができても次の課題に対する挑戦意欲が湧いてこないようでは子どもの多面的成長は望めません。練習中には子どもたちはいろいろなことを思ったり、感じたりするものです。それをくみ取りながら多少時間がかかっても、子どもたちが自分で考えて練習でき、自力でできたという実感を持てることが極めて重要なことであり、子どもたちが自身の動きの変化に気づき、それに工夫できるように導くことが体操指導者の本来の役割なのです。

名古屋YMCA体操教室では、子どもたちがマット、鉄棒、とび箱、トランポリンの技にチャレンジすることを通して、子どもたちの心身の健全な発育発達を目的としています。

幼児は様々な動きを幅広く経験することで、技を行うのに必要な体力や身体コントロール能力の向上を主なねらいとしています。もちろんできそうな技に取り

組むこともあります。小学生になると練習する技も徐々に増えていきます。技ができることはもちろん目標ですが、そこに至るプロセスにも同様に重きを置いています。競技志向の体操クラブが行っている促成訓練的な指導は行っていません。

YMCAの各リーダーは子どもたちの試行錯誤を促すべく、技の解説や練習の仕方の説明をより分かりやすく心がけたり、タブレットの動画撮影を活用して動き方を理解させたり、ときには質問して考えるきっかけを与えたり、子どもたちの個性に応じた多岐にわたる関わり方に努めています。全てのリーダーが体操の専門性に精通しているわけではありませんが、年数回の研修会に積極的に参加しスポーツ科学に裏づけられた指導理論を学び、子どもたちに寄り添いながら、子どもたちと共にリーダーとして成長していくことを願っています。

名古屋YMCA体操教室アドバイザー  
福井大学名誉教授

三上 肇氏

全日本体操競技選手権大会  
個人総合優勝、ユニバー  
シアードメキシコ大会で  
の日本選手団主将を経験。  
現在は、体操教室にて若い  
リーダーの指導力向上に務  
めている。



### 総主事コラム

#### ちいさなかごに

新しい年度が始まり、一つ大きくなった子どもたちが幼稚園に登園してきます。元気に挨拶をしてくれるお友だちに、まだまだ不安げなお友だち。子どもの育ちはそれぞれなので、そのすべてを受け止めて「おはよう」と声をかける生活が戻ってきました。仕事の都合上、毎朝とはいかないのが残念ですが、可能な限りお迎えしたいと思っています。長い間、多くの子どもたちに「おはよう」と声をかけていますが、こころを込めた挨拶には、どの子どもたちも豊かに反応してくれることに改めて気づかされます。そして「ちいさなかごに」の2番の歌詞をひとり

口ずさみながら、讚美歌によってあいさつの大切さを今一度教えられています。幼稚園で大切にしている讚美歌には大切な教えがたくさんあります。子どもたちだけでなく、一日に出会うすべての人にこころを込めて挨拶したいと思います。

「おはよう」とのあいさつも こころこめて交わすなら その一日おたがいに よろこばしく過すでしょう 愛のわざは小さくても 神の御手がはたらいて 悩みの多い世の人を あかるくきよくするでしょう  
讚美歌 第二編 26番

追記：1番のAメロも添えておきます。小さなかごに花をいれ さびしい人にあげたならへやにかおりが満ちあふれ くらい胸もはれるでしょう

(中村 隆)

# 日本語学校卒業式

3月21日に名古屋市東文化小劇場で卒業式を行いました。68名の学生が名古屋YMCA日本語学院を卒業し、新たなスタートをきりました。学生たちは正装で出席し、それぞれの国の民族衣装をまとう学生もいて、日本語学校らしい華やかな雰囲気でした。

第1部の学習発表会では、模擬裁判動画・YMCA拠点紹介・シットコム動画の3つの発表がありました。動画では、撮影・脚本・編集のすべてを学生が担当し、クオリティの高いユーモアあふれる動画もあり、会場が笑い声に包まれる楽しい時間になりました。また、YMCA施設訪問では、学生たちが感じた名古屋YMCAの姿について報告がありました。各施設の訪問で、ご協力くださったみなさまに感謝いたします。施設訪



問を通して、自分たちの国との違いや日本の文化について学ぶことができました。

卒業後も日本語学院での思い出を胸にそれぞれの夢に向かってがんばってほしいです。

(担当スタッフ 松吉 志緒音)

## 維持会員感謝・ご寄付感謝 (2024年3月18日~4月19日)

### 維持会員 (継続)

黒田 忠嘉 黒田 邦子 山本 伸彦 渡邊 信子 服部 千秋 加藤 明宏 福田 義正 西村 清  
西村 牧子 岩瀬 康彦 小林 滋記 松浦 剛 嶋崎 英子 加藤 渡 三牧 勉 平井 真希  
小島とよこ 山本 和子 桐山 潤 桐山 恵子 山口 一雄 松井 克巳

### 寄付金・募金

(能登半島地震緊急支援募金)

嶋崎 英子 社会福祉法人シャローム 老人ホームセツトンの家

## 早天祈祷会

## ワイズコーナー 5月例会の予定

<b>日時</b> 5月7日(火) 7:45~8:30	名古屋	5月14日(火) 18:30~20:30	次期事業計画 TOF例会	名古屋YMCA
<b>会場</b> 名古屋YMCA5F チャペル	名古屋東海	5月8日(水) 19:00~	卓話「ホリスティック医学について」 講師：真鍋 孔透氏	ラ・スース ANN
<b>奨励</b> めぐみキリスト教会 山口 春雄 牧師	名古屋 グランパス	5月9日(木) 18:45~20:30	日和田キャンプ場支援案検討	名古屋YMCA

## お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331  
YMCAこひつじ保育室 052-757-5530  
南山ファミリーYMCA 052-831-6968  
南山幼稚園 052-831-8271  
神沢ファミリーYMCA 052-879-6300  
YMCAかみさわ保育園 052-879-6222  
名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077  
発達サポートYMCAつるさと 052-823-2021  
かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

## 名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

## 2024年度聖句

「見よ。なんとという幸せ なんとという楽しさだろう。兄弟たちが一つになってともに生きることは。」(詩編133篇1節)